

様式第5号（第8条関係）

騒音等に係る特定施設設置（使用・変更等）届出書



該当する部分を残し線で消す

平成 年 月 日

石巻市長 殿

（主たる事務所の所在地）

届出者

住所 石巻市〇〇町  
 電話 〇〇—〇〇〇〇  
 氏名又は名称 〇〇株式会社  
 代表者名 代表取締役 石巻 太郎

公害防止条例第35条第1項（第36条第1項・第37条第1項・第37条第2項）の規定により、騒音等に係る特定施設の設置（使用・変更等）について、次のとおり届け出ます。

特定事業場の名称	〇〇株式会社	特定施設を設置しようとする工場等の名称、所在地を記入
特定事業場の所在地	石巻市〇〇町〇〇丁目〇番〇号	
特定事業場の事業内容	水産加工業	
常時使用する従業員数	100人	
※特定施設の種類（及び能力）ごとの数	別紙のとおり（別紙1）	
※特定施設の使用の方法	別紙のとおり（別紙1）	
※騒音等の防止の方法	別紙のとおり（別紙2）	
※※受理年月日	平成 年 月 日	
変更の内容（変更の場合に限る。）		

- 備考 1 特定施設の種類の欄には、公害防止条例施行規則別表第1に掲げる番号及び名称を記載すること。  
 2 特定施設の種類（及び能力）ごとの数については、公害防止条例施行規則別表1に掲げる番号及び（一）、（二）、（三）等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。  
 3 騒音等の防止の方法については、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音壁の設置、吊り基礎、直接支持基礎（板ばね、コイルばね等を使用するもの）、空気ばねの設置等騒音等の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにすること。  
 4 ※の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図面、表等を利用すること。  
 5 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とし、別紙についても、やむを得ない場合を除き、同様とすること。  
 6 ※※の欄には、記載しないこと。

特定施設の種類（及び能力）ごとの数  
特定施設使用の方法

(騒音等設置，使用届出用)

特定施設の種類	形式	公称能力	数	使用開始時刻 (時・分)	使用終了時刻 (時・分)
4-13 クーリングタワー			2		
騒音の特定施設は種類ごとの合計を記入					
”	〇〇社製 I S-101	0.75 k w	1	8 : 00	20 : 00
騒音の特定施設は能力ごとの数を内訳として記入					
”	〇〇社製 I S-201	3.75 k w	1	8 : 00	20 : 00
5-13 冷凍機	〇〇社製 I S-5	7.5 k w	2	7 : 00	20 : 00
振動の特定施設は種類ごとの数を記入					
	〇〇社製 I S-4	11 k w	1	7 : 00	20 : 00
	〇〇社製 I S-3	15 k w	1	7 : 00	20 : 00

都市計画法に定める用途地域	準工業地域
その他参考になる事項	

- 備考 1 騒音に係る特定施設については特定施設の種類ごとの数についてのみ記載すること。  
 2 特定施設の種類の欄には，公害防止条例施行規則別表1に掲げる号番号及び(一)，(二)，(三)等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。  
 3 用紙の大きさは，日本工業規格A4とすること。

- 添付書類 1 工場又は事業場の周囲200メートル以内の状況を示す図面  
 2 工場又は事業場の敷地内の建物の平面図  
 3 特定施設の配置図

## 騒音の防止の方法

(騒音等設置, 使用届出用)

音源での騒音レベル	騒音	70	デシベル(A)
防音・遮音・防振材の材質	騒音コンクリート200mm		
境界線までの距離		5	m
境界線での騒音レベル	騒音	37	デシベル(A)
都市計画法に定める用途地域区分		準工業	地 域
<p>防音・遮音・防振計算</p> <p>騒音防止対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 住居側の境界線より距離のある方へ設置する。等</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul> <p>※1 備考1のとおり図面、表等を利用すること</p> <p>※2 隣地に住居系の建物がある場合は、発生源より住居系に影響を与える最も近い境界線において騒音レベルの予測を実施すること。なお、隣地の他の境界線についても騒音レベルの予測を実施してもらう場合があります。</p>			

備考 1 できる限り図面、表等を利用すること。

2 届出書の用紙の大きさは、図面、表等でやむを得ない場合を除き、日本工業規格A4とすること。

添付書類 1 工場又は事業場の敷地内の建物の平面図

2 特定施設の配置図